

学会とPASJ

祖父江義明

〈東京大学天文学教育研究センター〉

e-mail: sofue@ioa.s.u-tokyo.ac.jp



PASJ 論文数と学会講演数の推移 (図 1) に基づいて、日本天文学会の学術研究活動の在り方について考え、PASJ の重要性和今後の発展について述べる。

1. 統 計

学会活動の幅が広がる反面、本来の研究活動と、日本天文学会 (以下学会) の国際発信を担う PASJ (Publications of the Astronomical Society of Japan: 学会欧文報告) について憂慮すべき統計が見えています。PASJ と学会の在り方については月報でも二度ほど扱われましたが (文献 1、2)、最新のデータに基づいて改めて考えてみたいと思います。

学会活動を評価する指標として、年会発表数と、学術論文 (PASJ) 数が挙げられます。図 1 にその推移を示しました。学会としての研究活動の頭打ちと論文による国際発信の低下が顕著です。論文数の学会発表数に対する比率も激減しています。図の傾斜が続けば約 7 年で半減、PASJ は今の世代で消滅します。

学会で発表した研究はその学会誌に載せるのが自然なのですが、そうならない背景として一部に次のような考えがあるためかも知れません。(I) 欧米の雑誌の方が有難い。(II) 同じ論文を二つの学会に出すのは構わない。(III) 外国の学会誌に発表するので日本で発表する必要はない。これらがスパイラルに陥り、いずれ PASJ をやめて学術成果公表は外国に頼り、日本天文学会は普及目的の団体にシフトして行くというシナリオさえ予感させます。

2. 学術活動の基盤

研究は、個人・大学機関の研究者が学会で結束し議論を深めることで円滑、効率的に進められます。日本天文学会は、学術的な法人としてその任にあり、科学成果公表も担っています。学術誌の発行は文科省の定める法人資格や補助金とも関連し、PASJ の存亡は学会の存亡にも関わります。

若い世代が国際舞台に立つとき、自分の国には立派な学会があり、一流の天文学国際誌を発行していると胸を張ることが出来ることは大変重要なことです。優れた文化と科学を営む確固たる基盤に立つことで、自信ある活躍ができ、世界は受け入れてくれます。

3. 学会と PASJ

国際的な活躍とは外国の学会誌を通してだけ行うものではありません。研究成果を世界に発信すべく先人が育ててきた PASJ を発展させることも国際的な活動であり、学会員の役目です。よその学会に頼るばかりでなく、自身が自分達の学会のために何が出来るかを考えることも大切です。難しいことではありません。今書いている論文を PASJ に投稿するなど身近なアクションが有効です。役員委員の人たちにも考えて頂きたいところです。

PASJ の重要性については 2005 年に学会で取

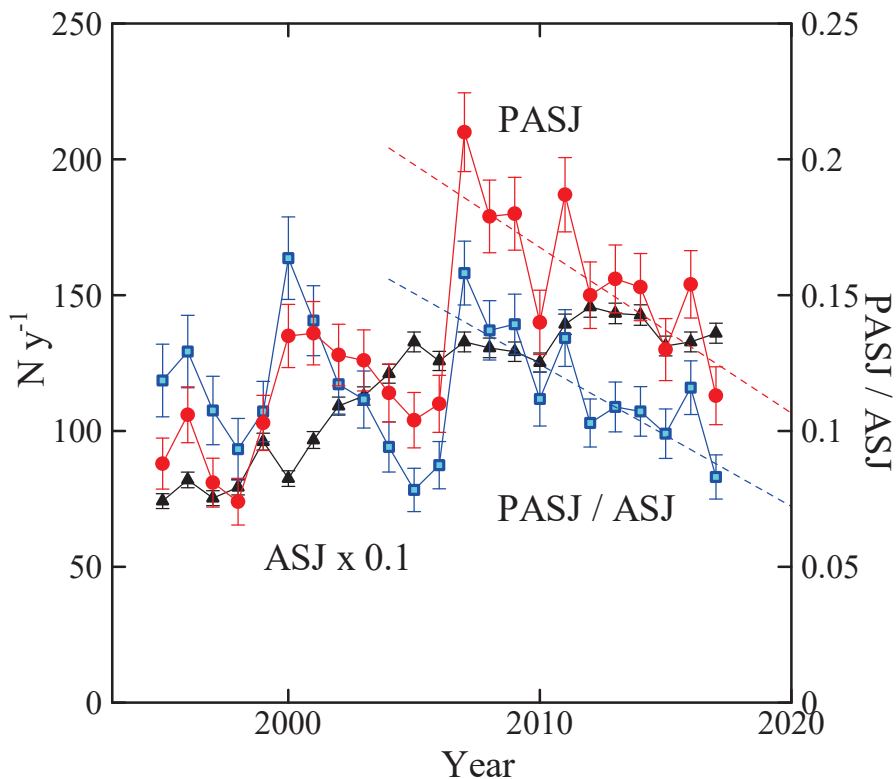


図 1. PASJ 論文数/年 (ADS 調べ), 学会発表数/年 $\times 0.1$ (学会資料), PASJ 論文数/学会発表数。誤差棒は \sqrt{N} 。点線は 2007 以後の最小二乗フィット、約 7 年で半減、2030 年代に 0。

り上げられ (文献 1)、その後改善も見られました。しかしさらに発展させるべく提案された PASJ 月刊化の案は、こともあろうに評議員会で却下されてしまいました。その一方で近年、PASJ への投稿を促す力強い声が上がっているのも周知のとおりです (文献 2)。

学会の事業は当初、年会・欧文報告 (PASJ)・会誌発行の 3 本でしたが、新定款では 11 もの事業が軒を連ね、本来の学会活動が見えにくいのも否めません。月報が薄くなっているのも無関係ではないように思えます。そこで改めて、学会に属し、日本で月給を得、国税を使う研究者として、日本天文学会と PASJ の在り方について良く考える必要があると思います。

4. 結 び

研究は国際的なものだから学術誌は世界に 1 つあれば良いとする考えがある一方、メディアを統合するのは危険で、複数が切磋して発展すべきだとする考えもあります。多くの国々や複数の大学が存立するのと同様、後者が正しいのは自明です。

ADS, AstroPH の時代、論文をどこに出そうと読まれる機会は全く均等です。我が国の天文学研究成果を発信すべく創設された PASJ を活用し、世界の科学を牽引していく気概が望まれます。

なお私の考えは文献 1 に詳述しましたのでご覧頂ければ幸いです。

参 考 文 献

-
- 1) 祖父江義明 2005 天文月報 98 卷 677
http://www.asj.or.jp/geppou/archive_open/2005_98_10/98_677.pdf
 - 2) 戸谷友則 2017 天文月報 110 卷 533
http://www.asj.or.jp/geppou/archive_open/2017_110_08/110_533.pdf

ASJ and PASJ

Yoshiaki SOFUE

Institute of Astronomy, The University of Tokyo

Abstract: Based on analysis of Figure 1, showing the decrease in academic activity in the ASJ, I stress the importance of PASJ and discuss the way to expand it.